

NEWSLETTER

No.41

3 April 2008

・教室をめぐる動き 1
・2008年度地理学教室行事予定 1
・長島弘道先生退職記念事業 2
・地理実習室および地理情報処理室(世田谷10号館)の利用について 3
・地理学教室・購入図書資料リスト(2007年度) 4
・地理学教室・購入主要備品リスト(2007年度) 5
・製本保存される卒業論文主題(2007年度)一覧 5
・2008年3月卒業生の進路・就職先 5
・2007年度における教員の研究活動 6
・教員の研究室と電話番号・メールアドレス 10
・2008年度教員在室時間割 11

【教室をめぐる動き】

新年度を迎え、次のような先生方の動きがありました。

<専任教員の退任>

長島 弘道 先生 定年退職

<専任教員の新任>

宮地 忠幸 先生 日本大学助手から本学講師に。世田谷10号館1001研究室。

<非常勤講師の退任>

竹崎 嘉彦 先生 地図学, 地形図判読法

両角 政彦 先生 社会環境と人間, 地理と人間生活(法現ほか), 人文地理概説(教職・法ほか)

<非常勤講師の新任>

長沼 佐枝 先生 社会環境と人間, 人文地理概説(教職・法ほか)

小堀 昇 先生 地図学, 地形図判読法

池田 真志 先生 人文地理概説(21ア・教職), 地理と人間生活(法現ほか)

<昇格>

内田 順文 先生 教授に

磯谷 達宏 先生 教授に

今年度の専攻主任・学年担任・大学院幹事は以下の各先生です。

専攻主任 岡島 建 1年 加藤幸治・宮地忠幸 2年 磯谷 達宏

3年 長谷川 均 4年 内田 順文

大学院幹事 磯谷 達宏

【2008年度地理学教室行事予定】

5月20日～21日	1年地理野外実習(地理学野外実習A)
6月14日	国土館地理学会
10月1日～2日	2年地理野外実習(地理学野外実習B)
10月21日～24日	3年地理野外実習(地理学野外実習C)
12月10日	卒業論文提出 締切(15:00)
12月13日	国土館地理学会
2月6日～7日,9日	卒論公開口頭試験

【長島弘道先生退職記念事業】

30年の長きにわたって、国土館大学において地理学の研究・教育を勤めて来られた長島弘道先生（農業・農村地理学）が定年退職を迎えられ、それを記念した事業として、退職記念特集号としての国土館地理学報告16の発刊、退職記念講演会の開催（主催：国土館大学地理学会）、退職記念パーティーの開催、がなされました。

については国土館地理学会員（在学生・OB）とともに、の参加者にも配布されました。また、入手希望者は地理学教室ホームページからPDFファイルがダウンロードできますのでご利用下さい。URLは次の通り（<http://bungakubu.kokushikan.ac.jp/chiri/PDF/Top.htm>）。

については、2007年12月22日（土）に、世田谷キャンパス10号館で開催されました。

記念講演は、「持続可能な農村システムに関する研究の現状と課題」をテーマに、先生はこれまでの研究や国際学会での経験を交えて、いつものように熱いお話をしてくださいました。聴講者は、在校生や多数の長島ゼミOB、学外の方々が集まり、会場は200名をこえる方々で埋め尽くされました。



講演会の締めは
「The future begins here」

その後、場所を1号館地下のレストランに移して記念パーティーが賑やかに開催されました。思い出の写真などが上映され、また卒業生と現役学生の交流などもあり、先生のお人柄を反映した和やかでとても暖かいパーティーでした。

（記念事業実行委員長・長谷川均）



にぎやかにパーティーが始まりました



現役学生（1・2年生）と最後の記念写真

記念講演会・記念パーティーでの写真は地理学教室ホームページから閲覧・ダウンロードできます。
（http://bungakubu.kokushikan.ac.jp/chiri/HPphoto/071212Ngashima_P_Small/newpage1.html）
ただし、サイズが大きいののでご注意ください。

【地理実習室および地理情報処理室（世田谷 10 号館）の利用について】

（ よく読むこと ）

1. 世田谷 10 号館 2 階（10201）に新しく地理実習室が開室されました。鶴川校舎にあった地理実習室の代替施設です。地理実習室は、学生の学習用に利用できます。

利用時間と利用方法

毎日 9：00～18：00（原則）

- ・利用希望者は 5 号館文学部事務室で、カギの貸出簿に、必要事項を記入の上、カギを受け取る。解錠後は所定のカギ掛け（マップケースそば）にカギを掛けておくこと。カギを借り出した者は、退室時には必ず施錠し、カギを文学部事務室に返却すること。
- ・退出時に他の学生がいて継続して利用したい場合は、あらかじめカギを借り出すこと。カギの又貸しは、原則禁止します。
- ・教員が在室している時は、事務室でカギを借りなくても、自由に入室できます。ただし、教員が退室する場合は、在室者・利用希望者が事務室からあらかじめカギを借り出すこと。
- ・教員の在室日時は地理実習室内黑板に貼り出します。利用の際の参考にして下さい。
- ・地理実習室は飲食禁止です。整理整頓を心掛け、ゴミ等は廊下にあるゴミ箱に分別して捨てて下さい。
- ・地理実習室は学習スペースですので、携帯電話も使用禁止です。玄関等で通話・利用して下さい。

2. 実習室には地理学に関する基本的図書（多くは貸出も可。貸出方法は下記参照）、地理学関連の辞典もあります。復習・レポート作成時に役立ちます。以前、本地理学教室の教員であった大崎晃先生より寄贈いただいた地理学及び関連分野の図書等も配架してあります。こちらも有効に利用して下さい。

国勢調査、事業所統計、工業統計、商業統計、農業センサスなど主要な統計（南関東の諸都県のものを中心）、道路統計年報、港湾統計年報、特定サービス産業実態調査報告書など図書館にない資料もあります。人文地理関係の科目で有効に活用できます。地理学の専門学術雑誌として、地理学評論（数年分）、経済地理学年報（約 20 年分）もあり、最新号が発行されるごとに配架されます。

統計類、雑誌類および辞書類の貸出は禁止です。統計・雑誌の一次持ち出し（コピー）は、教員の許可があればできます。

3. 実習室内には地理・環境関係図書、地理・環境専攻学生専用の端末 PC8 台とプリンタ、スキャナ等が設置されています（学生用 PC は 4 月中にさらに 2 台追加される予定）。これも学習用に利用できます。情報科学センターの講習を受けた学生に限り、インターネット、メール、その他のソフト（オフィス系）を使用することができます。利用上の注意は、情報科学センターの端末と同様です（学習に関係ないネット閲覧、ゲーム等は禁止です）。なお、GIS やリモートセンシングソフトもインストールされているので、宿題や課題などもこれらの PC で行うことができます。

4. 情報実習室は、学校荒らし・空き巣常習者などに狙われやすく、盗難のおそれがあるので、室内にモノを置いたまま外出しないようにして下さい。

なお、地理実習室内には防犯を目的として 2 台のネットワークカメラが設置されています。このカメラで撮影された動画は、教員の部屋にあるネットワークハードディスクに保管されています。防犯と危機管理の面からもカメラの設置は必要ですので、理解と協力をお願いします。

5. これまで地理実習室の役割も果たしていた地理情報処理室は基本的に研究向けスペースとなります。特殊なソフト・機器等を利用するためのスペースと考えて下さい。使用については教員と相談して下さい（同級生が在室していても、通常利用の学生は地理実習室の方を利用して下さい）。

実習室の図書の閲覧および貸出方法（必ず読んで、ルールを熟知すること）

研究室備品の地図・空中写真・製図道具等は、実習室内でのみ閲覧・利用して下さい。

利用する人は（教員も含めて）、見たり借りたりした本を必ず元の位置に戻すようにして下さい（図書は分野別に配架されています。おおよその位置は借り出す際、覚えておいて下さい）。多くの学生・教員が利用します。実習室に図書・資料を放置することなどないよう、注意しましょう。

貸出は、「図書貸出簿」（雑誌ラックに置いてある青色の B4 ファイル）に、書名・住所・氏名など必要事項を記入の後、教員のチェックを受け、サインをもらって下さい。

返却も、必ず教員のチェックを受け、「図書貸出簿」にサインをもらって、各自責任を持って所定の書架（置いてあった場所）に戻して下さい。

貸し出し期限は 2 週間です。厳守して下さい。

以上を守らず、無断持ち出した者、貸し出し期限を守らない者には、相応のペナルティが課されます。

【地理学教室・購入図書資料リスト（2007年度）】

書名と出版社名のみ

- 地理学概論 朝倉書店
- 地誌学概論 朝倉書店
- 中部圏(日本の地誌7) 朝倉書店
- 自然災害の事典 朝倉書店
- 昭和9年版 復刻版地図帳 帝国書院
- 山と氷河の図譜 五百澤智也山岳図集 ナカニシヤ出版
- 測量 その基礎と要点 第2版 共立出版
- 観察でわかる地学 誠文堂新光社
- 森里海連環学 森から海までの統合的管理を目指して 京都大学学術出版会
- プロが教えるオモシロ地図授業 明治図書出版
- 地図出版の四百年 京都・日本・世界 ナカニシヤ出版
- Google Earth で地理学習 理論社
- パーチャル京都 過去・現在・未来への旅 ナカニシヤ出版
- ヒマラヤと地球温暖化 消えゆく氷河 昭和堂
- 人類紀自然学 地層に記録された人間と環境の歴史 共立出版
- 改訂 森林リモートセンシング 日本林業調査会
- モバイルGPSナビゲーションブック ピークワーク
- 「地図」が語る日本の歴史 大東亜戦争終結前後の測量・地図史秘話 暁印書館
- 建築地理学 新しい建築計画の試み 東京大学出版会
- 「だいち」の目 最新地球衛星が写した地球の壮観・奇観 日経ナショナルジオグラフィック社
- 大地の肖像 絵図・地図が語る世界 京都大学学術出版会
- 日本からみた世界の諸地域 世界地誌概説 原書房
- ナビゲーション大研究 GPSプロッター&航海用レーダー入門講座 舵社
- GISと地域の森林管理 全国林業改良普及協会
- 航空図のはなし 成山堂書店
- 古代の風景へ 東方出版
- IDLと3次元画像処理入門 パソコンで作れる鳥瞰図 共立出版
- 山を読む(自然景観の読み方) 岩波書店
- 森を読む(自然景観の読み方) 岩波書店
- 日本列島の生い立ちを読む(自然景観の読み方) 岩波書店
- 雲と風を読む(自然景観の読み方) 岩波書店
- 地図を読む 岩波書店
- 環境修復の技術 地域環境科学からのアプローチ 東京農業大学出版会
- 地学観察実験ハンドブック(新装版) 朝倉書店
- 風成塵とレス 朝倉書店
- 宇宙から見た地質 - 日本と世界 - 朝倉書店
- 地域調査ことはじめ あるく・みる・かく ナカニシヤ出版
- GISのためのモデリング入門 ソフトバンククリエイティブ
- GISと森林管理 全国林業改良普及協会
- 大学テキスト国際協力論 古今書院
- 人間開発報告書を読む 古今書院
- 世界・日本 文化風土論 古今書院
- 風で読む地球環境 古今書院
- 小倉祇園太鼓の都市人類学 古今書院
- 日本の地誌 古今書院
- 都市の景観地理 日本編1 古今書院
- 都市の景観地理 日本編2 古今書院
- 都市の景観地理 韓国編 古今書院
- 続・人口でみる世界 古今書院
- 立地戦略と空間的分業 古今書院
- 工業団地の造成と地域変貌 古今書院
- 地域労働市場と女性就業 古今書院
- ハンディキャップと都市空間 古今書院
- 農耕技術の歴史地理 古今書院
- 地域分析調査の基礎 古今書院
- 流通空間の再構築 古今書院
- 地球環境学 古今書院
- 農業リモートセンシング・ハンドブック システム農業学会
- 改訂 森林リモートセンシング 日本林業調査会
- 兵庫の地理-地形でよむ大地の歴史 神戸新聞総合出版センター
- 新潟もの知り地理ブック 新潟日報事業社
- 瀬戸内海辞典 南々社
- 愛知県の中央構造線 日本列島の謎を解く鍵 風媒社
- 江戸・東京地形学散歩 之潮
- 川の地図辞典 之潮
- 地理学基礎シリーズ2自然地理学概論 朝倉書店
- 北海道高山植生誌 北海道大学出版会
- 日本海草図譜 北海道大学出版会
- 土とは何だろうか 京都大学学術出版会
- 植物の生活型の話 全国農村教育協会
- 浅野貞夫 日本植物生態図鑑 全国農村教育協会
- カヤツリグサ科入門図鑑 全国農村教育協会
- 写真でわかるシダ図鑑 トンボ出版
- 水田の生物をよみがえらせる 岩波書店
- 野の花・今昔 うらべ書房
- 里山学のすすめ 昭和堂
- 野に咲く花(山溪ハンディ図鑑1) 山と溪谷社
- 日本の野鳥(山溪ハンディ図鑑7) 山と溪谷社
- 高山に咲く花(山溪ハンディ図鑑8) 山と溪谷社
- 日本のカエル(山溪ハンディ図鑑9) 山と溪谷社
- 日本のカメ・トカゲ・ヘビ(山溪ハンディ図鑑10) 山と溪谷社
- 日本の野菊(山溪ハンディ図鑑11) 山と溪谷社
- フィールドガイド日本の野鳥(増補改訂版) 日本野鳥の会
- 動物反乱と森の崩壊 朝日新聞社
- 地域に学ぶ(めぐるシティカレッジ叢書) 二宮書店
- 風景の世界(めぐるシティカレッジ叢書) 二宮書店
- 森を知り 森に学ぶ(めぐるシティカレッジ叢書) 二宮書店
- 世界の砂漠(めぐるシティカレッジ叢書) 二宮書店
- 個体群生態学入門 - 生物の人口論 - 共立出版
- これからレポート・卒論を書く若者のために 共立出版
- 湖と池の生物学 共立出版
- ベーシックマスター 生態学 オーム社
- 生態環境リスクマネジメントの基礎 オーム社
- 21世紀の乾燥地科学 古今書院
- 農業と雑草の生態学 文一総合出版
- 森林水文学 森北出版
- 魅力ある森林景観づくりガイド 全国林業改良普及協会
- 文学を旅する地質学 古今書院
- 日本の諸地域を調べる 古今書院
- 世界の国々を調べる 古今書院

【地理学教室・購入主要備品リスト(2007年度)】

ArcView (パソコンソフト) デジタルカメラ (Canon EOS5D) + 収納バッグ など.
 シュミット・ロック・ハンマー(KS-GOLD)

- * 地理学教室の備品・電子データ資料等は教員の指導のもと、学生も使用することができます。
 以前に購入した国勢調査の電子データ(従業通学データ)、商業統計表データ(立地環境特性格別統計編(商店街ごとの売上などが掲載されたデータ))などもあります。卒論でも有効に使えます。詳しくは教員(とくに加藤)まで。

【製本保存される卒業論文主題(2007年度)一覧】

- ・1986年以降に審査された卒論のうち、優秀なもの、資料的価値の高い論文は製本され公開されています。製本された卒論は閲覧できます。2007年度分は、以下の論文が製本・保存されます。
- ・なかでも、2008年3月17日に行われた全国地理学科卒業論文発表大会(「卒論の甲子園」ともいわれる各大学の優秀卒業論文の発表会:日本地理教育学会主催)では、原田隼さん(加藤ゼミ)と野澤健大さん(磯谷ゼミ)が発表しました。

番号	氏名	表題	所属ゼミ
<自然>			
16	島田 康弘	多摩丘陵北部黒川地区における水田畦畔草原の種組成について 日照環境の違いに着目して	磯 谷
33	水谷 剛章	久米島八テノハマ洲島における近年の海岸線変化 オルソ空中写真による検討	長谷川
34	野澤 健大	分布限界域における竹林の分布とその拡大状況	磯 谷
55	森田 梓	埼玉県秩父盆地における山谷風について	野 口
68	三浦 吉寛	千葉県富津岬における南北の海岸草原の違い	磯 谷
79	河合 雄基	千葉県松戸市松戸駅周辺におけるカラスの営巣木の分布とその環境について	磯 谷
<人文>			
9	太田小百合	山形県における芋煮食の地域性	内 田
17	馬淵 幸子	伝統的町並みにおけるイメージと演出	内 田
36	呉 亜鳴	新宿駅周辺の空間利用について 新宿2丁目・新宿1丁目を中心として	長 島
39	上村由梨果	横浜市におけるスカーフ産業の縮小と染染工業の現況	加 藤
43	小池 友恵	作家、三浦綾子が描いた北海道 故郷としての場所と信仰を深める場所	内 田
52	原田 隼	台東区におけるマンガ喫茶の立地展開	加 藤
56	山添 啓介	町田市における衣料品小売店の立地	加 藤

【2008年3月卒業生の進路・就職先】

第一貨物	エームサービス(総合マネージメント)	(株)シティーツアーズ
(株)ぐるなび	鉄矢工業(株)(ドア及びドアの部品等を製造)	鳥栖消防本部
(株)タジマヤ(卸売業)	牧村(株)(アパレル、布地の企画(メンズ))	大和リビング(株)
東一西東京青果(株)(卸売業)	(株)グッドウィル(人材派遣業)	北陸ペプシコーラ販売
(株)てるみくらぶ(旅行業)	京成バス(株)	明和地所
イデマキューブ(ネット関連)	東日本旅客鉄道(株)大宮支社	山九(株)東武トラベル
ユニバーサル園芸社・上海支店	(株)日栄インテック(建材・建築)	(株)マイカル(サティ)
(株)田原屋(アパレル)	東京エムケイ(株)(タクシー)	(株)文化堂
紳士服のコナカ	(株)ネクシーズ(テレマーケティング事業)	大和ハウス工業
CO-OPとうきょう生活協同組合	(株)エイチ・アイ・エス(サービス業)	静岡県菊川市役所
(株)スタートトゥデイ(アパレル)	イー・シー・ワン(情報処理)	イトーキ
(株)住友不動産販売	日産プリンス神奈川	山九(株)
筑波大学大学院		

ただし、2月初旬時点で教室に、業種だけでなく企業名等も含めた報告のあった分のみ。

【2007 年度における教員の研究活動】

2007 年度スタッフと宮地先生の研究活動

長島 弘道 教授

論文：

- ・Hiromichi NAGASHIMA (2007) : Certification of Organic Agricultural Products in Japan . Proceedings of the 14th Colloquium of the Commission on the Sustainable Development of Rural Systems of the International Geographical Union, Cairns, Australia (CD-ROM) , 146-153 .

講演：

- ・長島弘道 (2007) : 「持続可能な農村システム」に関する研究の現状と課題 . 国土館大学地理学会 , 2007 年 12 月 22 日 . (退職記念講演)

その他 (報告) :

- ・長島弘道 (2008) : 国際地理学連合 農業・農村関係委員会の会議 (1976-2006) に参加して . 国土館大学地理学報告 16 , 2-39 .
- ・長島弘道・長谷川均 (2008) : デラサール大学との国際交流セミナー報告 . 国土館大学地理学報告 16 , 117-128 .

野口 泰生 教授

口頭発表：

- ・野口泰生 (2008) : 風向逆転日 (海陸風日と山谷風日) の全国分布と季節変化 : 特に冷夏年 (1993 年) と暑夏年 (1994 年) を対象に . 日本地理学会春季学術大会 , 2008 年 3 月 30 日 , 獨協大学 .

長谷川 均 教授

論文：

- ・長谷川均 (2007) : 海岸・サンゴ礁の解析 . 長澤良太・原 慶太郎・金子正美編自然環境解析のためのリモートセンシング・GIS ハンドブック , 古今書院 , 208-217 .
- ・後藤智哉・長谷川均 (2007) : ソビエト軍製地形図を利用したテルの分布調査 - シリア・ユーフラテス河中流域を対象として - . セム系部族社会の形成文部科学省科学研究費補助金特定領域研究 Newsletter , 8 , 16-19 .
- ・長谷川均 (2007) : シリア砂漠とユーフラテス川 . 森林技術 787 , 11-13 .

書評：

- ・沖縄県文化振興会公文書管理部史料編集室編 (2006) : 沖縄県史 図説編 県土のすがた沖縄県教育委員会 . 地図中心 2007 Oct. , 40
- ・沖縄県文化振興会公文書管理部史料編集室編 (2002,2003,2004) : 空から見た昔の沖縄 沖縄県史ビジュアル版 第 10,11,13 巻沖縄県教育委員会 . 地図中心 , 2007 Nov. , 41 .
- ・鈴木郁夫・赤羽孝之監修 (2006) : 新潟地図ウォッチング 訪ねる歩く発見する新潟日报社 . 地図中心 . 2007 Dec. , 41 .

口頭発表：

- ・長谷川均 (2007) : 命つぎの海「白保サンゴ礁」の今 , 調査から分かった今 , そして未来に向けて . WWF サンゴ礁保護研究センター主催白保サンゴ礁調査報告会 , 2007 年 4 月 7 日 , 石垣市 .
- ・長谷川均 (2007) : なぜサンゴの海は死んでゆくのか - 沖縄振興開発事業と負の遺産 - . OSI (沖縄観光産業) 研究会 , 2007 年 4 月 17 日 , 汐留シティセンター .
- ・後藤智哉・長谷川均 (2007) : GIS を使ったヨルダン ウム・カイス遺跡の調査 . 2007 年度西アジア考古学会大会 , 2007 年 6 月 10 日 , 天理大学 .
- ・Ken MATSUMOTO, Hitoshi HASEGAWA , Hisao USHIKI, Tomoya GOTO (2007) : The Making of the Base Maps of the Ancient Sites in the Mesopotamian Region based on ALOS Data . 第 1 回 ALOS データノード共同 PI (Principal Investigators) シンポジウム (京都) , 2007 年 11 月 21 日 , 国立京都国際会館 (ICC Kyoto) .
- ・長谷川均 (2007) : 白保サンゴ礁でみられる海草藻場の急激な拡大 . 日本サンゴ礁学会第 10 回大会 , 2007 年 11 月 22-25 日 , 琉球大学 .
- ・鈴木 倫太郎・長谷川 均・前川 聡・市川 清士・柴田 剛・後藤 慶之 (2007) : 石垣島白保サンゴ礁における造礁サンゴ類の詳細分布地図 . 日本サンゴ礁学会第 10 回大会 , 2007 年 11 月 22-25 日 , 琉球大学 .

- ・後藤智哉・長谷川均・松本 健（2008）：空間情報データを用いたメソポタミア遺跡データベースの作成 - イラク・バビル県を例として - ，日本地理学会春季学術大会，2008年3月28-29日，獨協大学。

学会活動：

- ・日本地理学会地理情報システム技術資格推進委員
- ・日本地理学会企画委員
- ・東京地学協会「地学雑誌」編集委員
- ・日本サンゴ礁学会 評議員，選挙管理委員長

新聞，放送の取材，執筆：

- ・サンゴ白化「赤土流出の影響大きい」，八重山毎日新聞，2007/4/8 掲載
- ・石垣・白保サンゴ減少，沖縄タイムス，2007/4/9 掲載
- ・白保の藻場6倍に，琉球新報，2007/4/17 掲載
- ・楓人辞典，サンゴを破壊する陸の環境変化，国土館大学新聞，2007/7/25 掲載
- ・ユーフラテス流域ビシュリ山系の調査，国土館大学新聞，2007/10/25 掲載
- ・大浦湾サンゴ群落調査，琉球新報，2008/3/25 掲載
- ・大浦湾サンゴ群落調査，琉球朝日放送，2008/2/24 放送

その他（報告）：

- ・長島弘道・長谷川均（2008）：デラサール大学との国際交流セミナー報告 国土館大学地理学報告 16 ,117-128 .

岡島 建 教授

論文：

- ・岡島建（2007）：近代日本の水運の発達 .石原潤ほか編アジアの歴史地理 1 領域と移動朝倉書店 ,322-334 .
- ・岡島建（2007）：都市計画における運河事業の展開 .山根拓・中西僚太郎編近代日本の地域形成 歴史地理学からのアプローチ 海青社，163-181 .
- ・岡島建・大矢康一（2008）：コミュニティバス運行の現状と課題 東京都杉並区および西東京市の事例を中心に . 国土館大学地理学報告 16 , 41-55 .

口頭発表：

- ・岡島建（2008）：明治期における内陸水運政策 .日本地理学会春季大会シンポジウム「公権力の空間認識と近代日本の国土形成」，2008年3月29日，獨協大学

学会活動：

- ・歴史地理学会評議員，常任委員 2005.4～現在
- ・交通史研究会常任委員（会計責任者） 2005.5～現在

内田 順文 准教授

論文：

- ・内田順文（2008）：風景としての武蔵野 国木田独歩武蔵野を読む . 国土館大学地理学報告 16 , 57-63 .

磯谷 達宏 准教授

論文：

- ・磯谷達宏（2008）：日本の植生帯に関する近年の研究 - 人文科学の関連領域としての展望 - . 国土館大学文学部人文学会紀要 40 , 63-80 .

口頭発表：

- ・澤田佳美・中村幸人・武生雅明・吉田圭一郎・磯谷達宏（2008）：函南原生林における常緑広葉樹林から落葉広葉樹林への林冠優占種実生の発芽・定着数の変化 .第55回日本生態学会大会，2008年3月15日，九州大学 .
- ・吉田圭一郎・武生雅明・磯谷達宏・澤田佳美（2008）：常緑 - 夏緑広葉樹林帯 Ecotone における林冠優占種の幹生長量の標高による変化 .第55回日本生態学会大会，2008年3月15日，九州大学 .

学会活動：

- ・植生学会運営委員
- ・植生学会会計監事
- ・日本地理学会財務専門委員

社会における活動：

- ・国指定史跡東勝寺跡保存管理計画策定委員会委員（鎌倉市教育委員会）
- ・特定非営利活動法人かわさき自然調査団シンポジウム「生田緑地の植生管理」講師。
テーマ：「丘陵地の二次林植生とその植生管理指針 - とくに地形環境に着目して - 」, 2007年12月2日, 川崎市青少年科学館。
- ・特定非営利活動法人かわさき自然調査団研究会講師。
テーマ：「井田山緑地の植生管理のあり方について」, 2008年1月14日, 井田山緑地（川崎市中原区）

加藤 幸治 准教授

論文：

- ・加藤幸治（2007）：情報技術と流通革命．上野和彦・椿真智子・中村康子編著地理学概説（地理学基礎シリーズ1），朝倉書店，42-44．
- ・加藤幸治（2008）：2000年の日本における職業別就業者の地域的展開：都道府県別データからの分析．国土館大学地理学報告16，65-78．

口頭発表：

- ・加藤幸治（2007）：職業別就業者数からみた日本におけるサービス経済化の展開．日本地理学会春季学術大会 産業経済の地理学研究グループ，2008年3月30日，獨協大学．

学会活動：

- ・経済地理学会 評議員（常任幹事：総務委員長） 2006年度～

その他：

- ・加藤幸治（2007）：コメント．地理科学学会第24回シンポジウム（2007年度秋季学術大会）「知識・学習と地理学」．2007年10月20日．（コメンテーターとして登壇）

宮地 忠幸 講師（2008年度～）

論文：

- ・宮地忠幸（2007）：農業立地とその変動，農業地域構造と地域的分業．上野和彦・椿真智子・中村康子編著地理学概説（地理学基礎シリーズ1），朝倉書店，22-30．
- ・宮地忠幸（2007）：日本における有機農業の展開と地域農業振興．経済地理学年報，53-1，41-60．
- ・両角政彦・宮地忠幸（2007）：農業地域情報デジタルアーカイブの地図化と高度利用．日本大学文理学部編デジタルアーカイブの高度利用日本大学文理学部，147-164．

口頭発表：

- ・水嶋一雄・松村祝男・小倉眞・田野宏・鈴木康夫・落合康浩・宮地忠幸・両角政彦（2007）：農業地域情報デジタルアーカイブの高度利用 - マクロ研究とミクロ研究の統合へ向けて - ．日本大学学術研究高度化推進事業研究報告会，2007年7月28日，日本大学．
- ・宮地忠幸（2007）：環境保全型農業による地域農業振興の意義と課題 - JA あしきたたまねぎ部会の取り組みを事例として - ．日本地理学会秋季学術大会，2007年10月6日，熊本大学．
- ・宮地忠幸（2007）：中山間地域等直接支払制度の運用に関するノート 制度の論点と芦北町の事例研究から検討すべき課題について ．熊本大学政策創造研究教育センター「山間地の集落機能維持システム構築のための政策研究」研究会，2007年11月23日，熊本大学．

学会活動：

- ・経済地理学会評議員 2006年度～
- ・経済地理学会編集委員 2004年度～
- ・日本地理学会代議員 2004年度～
- ・日本地理学会企画専門委員 2006年度～ ほか

社会における活動：

- ・平成19年度全国商工会連合会小規模事業者新事業全国展開支援事業プロジェクト予備審査委員会委員
- ・日本オーガニック&ナチュラルフーズ協会（JONA）認証判定委員

長谷川 均教授からの海外調査報告

1. 「ユーフラテス河中流域ビシュリ山系の総合研究～」の調査から

ビシュリ山地はユーフラテス河の南岸，シリア砂漠にある．山地そのものの比高は最大でも 500 メートル程度と小さく，シリア砂漠に載る 70，80 キロメートル四方の大きな丘陵地のようなものをイメージすればよい．地質構造上は，パルミリッジとよばれる地中海からシリア中央部を北東に向かう隆起部の延長上にある．ビシュリ山地周辺のステップは，近年遊牧民の家畜が増加したことにより土地の劣化が進行している地域としても知られている．

2007 年 8 月の一週間，この山地の周辺地域にある遺跡の立地環境を調査する機会を得た．ヨルダン北部の調査先から，陸路国境を越えて往復した．ダマスカスから 5 時間，簡易舗装道路を猛スピードで疾走するタクシーに身を託してアル・ラッカという地方都市に入った．

ユーフラテスはこのあたりでは青い水をたたえ，兩岸の沖積低地を緑で潤しながら悠然と流れている．私たちが訪れた時期には，水路を廻らされた綿花畑に白や赤色の花が美しく咲いていた．

私たちのチームは，高解像度地球観測衛星の画像データ，衛星データから作成した地表をくまなく覆うデジタル標高データ，旧ソ連軍やシリアが作成した地形図を用いて，リモートセンシングや GIS（地理情報システム）という技術を駆使してテルという遺構丘を抽出しその立地環境をしらべるという目的を持っている．今回は，私たち二人（長谷川と院生の後藤智哉くん）がユーフラテス河畔とシリア砂漠の北縁をまわった．

1960 年代の旧ソ連軍の地形図は，高い技術で作成された非常に正確な地図である．これに記載された「墓地」の 60%ほどが，遺構丘「テル」を利用したものであった．またテルは，フランスの SPOT，日本の ALOS などの高解像度衛星画像やデジタル標高モデルを組み合わせることで抽出できることがわかった．さらにテルの分布は，ユーフラテス北岸では河成段丘上に，南岸では沖積低地上に偏在することも明らかになった．これは，ユーフラテスの河道変遷とのかかわりで非常に興味深い発見である．

現在シリア国内の調査では，GPS（衛星を使った位置測位システム）の使用が許されない．砂漠の調査では，コンパスと車の走行距離で位置を割り出すというなんとも効率の悪いやり方で行わざるを得なかった．この辺りのシリア砂漠は，基盤岩が侵食されてゆるい波状の地形をつくり，その上をごく薄く土や礫が覆っている．

緑豊かなユーフラテス河畔の遺跡と現在の生活，これと対照的なシリア砂漠の中の遺跡と現在の集落や生活を見ることができたのも大きな収穫であった．道を尋ねると「まっお茶でも」と行く先々で庭や家に招き入れられた．日本人はとかく，アラブ原理主義＝テロ集団というステレオタイプな見方をしがちであるといわれるが，優しく親日的な人たちに囲まれた，充実した調査であった．



農家の中庭でお茶やブドウをいただいた．日干し煉瓦の住居の前で，一家の女性と子供達に囲まれて記念写真．座っている 3 名は，運転手氏と長谷川，後藤．

2. 死海低地の活断層調査

2008年の2月から3月にかけて、約三週間にわたりヨルダンへ出かけた。メンバーは、長谷川、東郷正美（法政大学社会学部教授・本学大学院非常勤講師）後藤智哉（大学院博士課程）である。最初の1週間は、ヨルダン北端のウムカイス遺跡での調査で、その後の2週間はヨルダン天然資源庁での資料収集と、死海低地での活断層調査である。ここでは、後半2週間に絞って簡単に話をしよう。

ヨルダン天然資源庁（NRA）で、私たちは思いがけない発見をした。倉庫に眠っていた、大量の空中写真を“発掘”したのだ。1950年代初期に撮影されたと思われる歴史的な写真で、死海低地帯が開発される以前の貴重な地形が記録されている。NRAの長官や研究者らの計らいで、このお宝の中から800枚ほどの写真をデジタル化することができた。その後、大急ぎでこれらの中からめぼしき写真を判読し現地へ。植生の乏しい地域なればこそ、ナマの変動地形にご対面となったのである。NRAとは今後、互いに協力して死海低地帯の変動地形の調査を実施することになった。さしあたって今年の夏は、熱波の死海低地帯での現地調査が待っている。メタボの私も、これでようやく減量できるであろう。



遺跡の一部が活断層によって破壊されている（実線で示した）。写真では見えないが、左の延長上にあるワジの谷壁も食い違っている。

【教員の研究室と電話番号・メールアドレス】

梅ヶ丘校舎竣工にともない地理・環境専攻専任教員は全員世田谷キャンパス(世田谷・梅ヶ丘校舎)にいます

野口：10号館 2F1004 研究室	03-5481-3246	E-mail:noguchi@kokushikan.ac.jp
長谷川：10号館 2F1003 研究室	03-5481-5247	E-mail:hasegawa@kokushikan.ac.jp
岡島：10号館 2F1002 研究室	03-5481-3245	E-mail:okajima@kokushikan.ac.jp
宮地：10号館 2F1001 研究室	03-5481-5278	E-mail:tmiyachi@kokushikan.ac.jp
内田：10号館 4F1025 研究室	03-5481-5291	E-mail:uchida@kokushikan.ac.jp
磯谷：34号館 8F 824 研究室	03-5451-8154	E-mail:isogai@kokushikan.ac.jp
加藤：34号館 9F 904 研究室	03-5451-8164	E-mail:k2kato@kokushikan.ac.jp

次ページ記載の時間以外の面会・相談などは Appointment（アポ）によります。相談、質問などは教員の出勤中に済ませて下さい。教員の自宅、特に非常勤の先生宅への電話は極力ひかえて下さい。

さまざまな相談など、時間のかかる面接等に関しては、事前にアポをとってからするようにして下さい。他の相談者などがいるために、時間が割けない場合もあります。

（メールを活用しましょう。教員のメールアドレスは携帯メールのものではありませんので、すぐ返信が来るとは限りません。余裕をもった連絡を心掛けて下さい。）

【2008年度 教員在室時間割】

凡例

==== 講義中 _____ オフィスアワー 在室の場合が多い

春のみ：春期のみ講義。 秋のみ：秋期のみ講義。

第3または第4金曜日には教室会議(12:00~)・教授会(13:00~)があります。大学にいますが、会えない場合もありますので、注意して下さい。

時限		1	2		3	4	5
		9:00~10:30	10:45~12:15		12:55~14:25	14:40~16:10	16:25~17:55
月	長谷川			野口			
	岡島						
	磯谷						
	加藤	秋のみ			春のみ		
火	野口				春のみ		
	長谷川						
	内田						
	岡島						
	磯谷		鶴川校舎				
加藤							
水	長谷川						
	岡島		秋のみ				
	磯谷						
	加藤						
木	野口						
	長谷川						
	内田						
	磯谷						
	宮地					秋のみ	
金	野口	秋のみ					
	長谷川	秋のみ					
	内田						
	岡島	春のみ					
	磯谷	秋のみ					
	加藤	春のみ					
土	宮地	春のみ					
	内田						